

令和4年度 学校経営方針

大田区立池上小学校 校長 菅原 進

1 はじめに

東京都教育委員会、大田区教育委員会の方針を受け、保護者や地域の信頼に応え、学校の歴史と伝統を継承しながら、児童一人一人を大切にしたい健やかな成長を図る教育を、保護者・地域とともに推進していく。

2 [東京都教育委員会 教育目標]

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

3 [大田区教育委員会 教育目標]

- 意欲をもって自ら学び、考え、行動する人
- 思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人
- 自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人
 - ・基礎学力の習得する
 - ・豊かな情操と公共の精神を養う
 - ・健やかな身体を育む
 - ・心豊かに生活できる地域社会を実現する

◆おおた教育ビジョン・豊かな人間性を育み、未来を創る力を育てる

ビジョンⅠ 社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する

- プラン1. 未来社会を創造的に生きる子供の育成【未来】

ビジョンⅡ 「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する

- プラン2. 学力の向上【知】
- プラン3. 豊かな心の育成【徳】
- プラン4. 体力の向上と健康の増進【体】

ビジョンⅢ 意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する

- プラン5. 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

ビジョンⅣ 地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子供を育てる

- プラン6. 学校・家庭・地域が一体となっても進める教育【学校・家庭・地域】

4 [本校の教育目標]

人間尊重の精神に基づき、よりよい地域社会の担い手として、主体的、創造的、協働的に生きることのできる、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。そのために、以下の児童像を設定する。

- 健康でねばり強い子（健康な体と心をもつ児童の育成）
- よく考え工夫する子（進んで課題に取り組み、解決しようとする児童の育成）
- みんなのために働く子（自他を大切に、人のために行動する児童の育成）

5 学校経営の視点

◎未来社会を主体的、創造的、協同的に生きる児童の育成

(1) 目指す学校像

◎安心して児童を預けられる環境づくり

◎信頼に基づいた教育活動の推進

- ①命を輝かせる学校・・・一人一人を大切にし、児童が輝く場面を大切にする
 - ・楽しく登校するための居場所づくり（自己肯定感、所属意識の醸成）
 - ・教師や友達に対する信頼感や安心感の醸成（生命尊重教育、人権尊重教育の重視）
 - ・児童が「楽しい」「わかった」「できた」等を実感できる教育活動の実践
 - ・「コミュニケーション能力」「ともに生きる力」等の育成（考えの違いや多様性の尊重）
- ②健康な体と豊かな心を育む学校
 - ・体力・健康づくりの推進（体育科の授業改善とPUTの充実）
 - ・道徳教育の充実（道徳教育推進教師をリーダーとした道徳科の授業改善）
 - ・教育相談の充実（関係諸機関やSCの活用、副担任との連携）
 - ・基本的生活習慣の形成と規範意識の向上（発達段階に応じた指導の徹底）
 - ・オリンピック、パラリンピック教育の充実
- ③学力をしっかりと身に付けられる学校・・・「個別最適な学びと協働的な学び」の実現
 - ・教科担任制の実施・・・児童理解に基づいた指導の充実、授業の質の向上
 - ・タブレット端末を日常的に活用するとともに、緊急時の学びの保障に対応する。
 - ・個に応じた指導の充実（児童理解に基づいた教材研究、習熟度別少人数指導、補充学習等）
 - ・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる指導の工夫
 - ・学習指導要領に対応した授業の充実（授業改善推進プランの活用）
 - ・OJT、理科指導専門員の活用
 - ・ICTや学校図書館を活用した授業の推進（情報活用能力や思考力・判断力・表現力の伸長）
- ④みんなで創り、歩む学校・・・「開かれた学校」の推進
 - ・安全・安心な環境づくりの推進（いじめ問題や生活指導上の問題等への適切な対応）
 - ・学級集団調査（Web QU）等の活用
 - ・地域の人材・歴史的・社会的環境を生かした体験的な教育活動の推進（伝統文化に親しむ教育活動や地域清掃等、「池上っ子応援団」との連携）
 - ・地域、家庭の理解、協力意識が高まる情報発信の工夫（学校公開、保護者会、学年ブログ等の充実）
 - ・特別支援教育の充実～「特別支援教室の運営ガイドライン（都）」に沿った運営

(2) 目指す教職員像

◎児童が輝く場面を大切にせる教師

- ①教育に対する熱意と使命感をもつ教師
 - 児童理解に基づいた教材研究、学習指導、生活指導を実践する。
- ②豊かな人間性と思いやりのある教師
 - 児童一人一人に向き合い、寄り添う教育を充実させる。
- ③児童のよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師
 - 広い視野をもち多様性に対応する姿勢をもつ。
- ④組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師
 - 教師としての専門性を高め、チームが向上するよう協働する。

(3) 目指す保護者像

◎学校と共育・協働し、児童のよき理解者として自立を支援する保護者

- ①学校公開や行事、保護者会、学校だより等を通して、教育活動を理解してもらう。
- ②家庭の役割、学校の役割、地域社会の役割を理解してもらう。

6 学校経営の基本的な方針

(1) 「チーム池上小」で様々な教育課題、社会状況の変化、多様性、危機管理に対応する

①新型コロナウイルス感染症対策（ウィズコロナ、ポストコロナへの対応）

- 感染症対策の徹底・・・健康観察、手洗い、換気、マスク着用、検温、3密を避ける 等

- ・環境整備・・・安全、衛生の点検、定期的な清掃、消毒、資料整理 等
- ・児童の心的ストレスへの対応、心のケア（児童への聞き取り、SCとの連携等）
- ・学習の遅れへの対応（補充学習、家庭学習等）、生活リズムを整える指導
- ・いじめ、問題行動、虐待、偏見や差別につながるような行為等の未然防止、適切な対応
- ・児童・教職員の発症に備えた体制づくり（関係機関との連携、通知、家庭学習、消毒等）

○ポストコロナにおける、人と人とのつながりやコミュニケーションの在り方

②個別最適な学びと協働的な学びの実現、学習指導要領の全面实施

○教科担任制の実施・・・児童理解に基づいた指導の充実、教科指導の専門性や授業の質の向上

○「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業展開の工夫

- ・具体的な活動場面と身に付けられる学力、話し合い活動の充実～校内研究の実践を通して

○ICT機器の活用～タブレット端末を日常的に活用するとともに、学びの保障に対応する。

○「外国語活動」「外国語科」・・・コミュニケーションを図ろうとする態度の育成

○プログラミング教育、言語活動の充実、読書活動の充実、特別支援教育の充実

○通知表・・・指導と評価の一体化

③組織として対応する

○ライン機能の強化 教諭—主任教諭—主幹教諭—副校長—校長

○学年経営上のチーム力強化・・・副担任制

○災害発生への対応、防災、熱中症対策、事故 等

○週ごとの学習指導計画を活用した計画的な指導、授業時数の確認

（2）児童が輝く場面を大切にする（個性と多様性への対応）～未来を拓く子供たち

①楽しく登校するための居場所づくりや活躍の場を大切にする～自己肯定感、所属意識の醸成

○複数教師による多面的な児童理解・・・自己肯定感を高め、心の安定に結びつける

○児童が「楽しい」「わかった」「できた」等を実感できる教育活動を計画的に実践する

②教育相談機能の強化（相談しやすい教員、相談しやすい環境づくり）

○交流授業、学年集会、なかよし班活動等、担任以外の教員が指導する場面の工夫、活性化

○学年や専科、巡回指導教員等、誰でも相談しやすい雰囲気づくり

※都SC（火曜日）・区SC（金曜日）との連携

③教員としての資質・能力向上、研修の充実

○指導技術の伝承・・・校内研究、OJT、研修会、区教研、昇任選考 等

○授業改善推進プランに基づいた授業改善、学習指導力・専門性の向上

「思いや考えを伝え合い、協働して学習する児童の育成～教科担任制を生かした授業改善」

※令和3・4・5年度東京都教育委員会小学校教科担任制等推進校

※令和3・4年度大田区教育委員会教育研究推進校（R4.11.14 発表）

○働き方改革・・・児童と向き合う時間の確保

（3）安全・安心な環境づくり～日頃のコミュニケーション、組織的な対応

○危機管理、事故対応・・・未然防止、早期発見、早期対応、早期解決

- ・いじめの防止・・・「いじめ防止対策推進法」に基づいた対応、必ず取り組む18項目

・体罰の防止・・・「寄り添って、支えて育てる 池上小」

・不登校、虐待、交通事故、問題行動、食物アレルギー等への適切な対応

（4）保護者や地域と共に歩む

①P（Plan）—D（Do）—C（Check）—A（Action）サイクルの確立

○教育アンケート、授業アンケート等の活用

②学校公開、行事、校内掲示、学年ブログ、ホームページ等の活用、充実

③地域、保護者との協働、共育～学校の特色、チームワーク

